

様式第1号

会議録

会議の名称	平成23年度第1回所沢市スポーツ推進審議会
開催日時	平成24年1月18日(水)午前10時00分～午前11時35分
開催場所	市役所第四委員会室
出席者の氏名	・新井喜代子 ・若山芳男 新井 充 ・武弓清貴 ・古市欣生 ・仲吉秀洋 ・山田弘代 ・西田五郎 ・須田藤一 ・関原明子
欠席者の氏名	・土屋 純 ・新井哲彦
説明者の職・氏名	
議 題	スポーツ推進審議会条例等について 平成23年度実施事業等の概要について 市民プール管理運営事業等について
会議資料	所沢市スポーツ推進審議会条例 平成23年度実施事業の概要 平成23年度第10回「政策会議」概要報告 スポーツ基本法
担当部課名	・教育長 佐藤徳一 ・教育総務部長 山崎祐司 ・教育総務部次長 藤田 晃 ・スポーツ振興課長 関口 恭一 ・副主幹 海老沢康子 指導主事 野澤和也 ・主査 鈴木 実 ・主査 小俣 芳彦 ・主査 田中 智子 教育総務部 スポーツ振興課 電話 04(2998)9248

様式第2号

発言者	審議の内容(審議経過・決定事項等)
<p>事務局 (課長)</p>	<p>関口課長により開会された。</p> <p>昨年、スポーツ行政において、大きな改革があった。50年間施行してきたスポーツ振興法が全面改正され、スポーツ基本法になった。スポーツの基本理念や国、自治体のスポーツ団体の責務等が定められ、スポーツを総合的かつ計画的に推進していく施策が規定されている。この会議もスポーツ振興審議会からスポーツ推進審議会に改められた。所沢市では今年度、パークゴルフ場の建設を進め、10月末に完成し、11月5日に開場式を行い、12月13日から一般市民への運営が開始された。</p> <p>出席の委員に対し、教育長が委嘱状を交付した。</p> <p>委員は、小学校体育連盟会長の変更により1名交代したほか、スポーツ少年団から離れたことにより1名退任の申し出があり、13名から12名となった。</p> <p>各委員が自己紹介をした。</p> <p>続いて、関口課長が教育長以下、事務局を紹介した。</p>
<p>事務局 (課長)</p> <p>委員</p>	<p>正副会長の選出にあたっては、いかがか。</p> <p>条例の改正があったことによるものなので、これまで務めた新井さんと若山さんに引き続きお願いしたらいかがか。</p> <p>(一同了承)</p> <p>(兩名了承)</p> <p>教育長あいさつ 新井会長あいさつ 若山副会長あいさつ</p>
<p>事務局 (課長)</p> <p>会長</p>	<p>本日の出席委員は、12名のうち10名であるため、会議は成立する。</p> <p>会議の公開、非公開について、公開とするはいかがか。また、傍聴者へ資料の閲覧をすることし、会議の記録方式については要約方式、会議の決定については会長の確認とすることでいかがか。</p>

様式第2号

発言者	審議の内容(審議経過・決定事項等)
<p>会 長</p>	<p>(一同了承)</p> <p>傍聴者はなし。(会議途中より、報道関係者1名傍聴。)</p>
<p>事務局 (主 査)</p>	<p>議事(1)スポーツ推進審議会条例等について 配付資料の確認をし、資料に基づき説明した。 「スポーツ振興法」が改正され、平成23年6月24日に、「スポーツ基本法」として公布された。これを受け、所沢市では平成23年9月の市議会に「所沢市スポーツ振興審議会設置条例の一部を改正する条例」として上程し、「所沢市スポーツ推進審議会条例」となった。</p>
<p>委 員</p>	<p>「体育指導委員」が「スポーツ推進委員」になり、略称は「体指」から何と言うか。</p>
<p>事務局 (課 長)</p>	<p>「スポーツ推進委員」でよいと思う。</p>
<p>委 員</p>	<p>我々は、審議会の委員である。</p>
<p>事務局 (課 長)</p>	<p>審議会について、事務局は「スポ審」と言っている。 「スポーツ振興法」から「スポーツ基本法」になり、実際にどう変わるのか、研究していかなければならない。国では「スポーツ庁」の創設が考えられている。また、国家戦略として、総合型地域スポーツクラブに、かつてのオリンピック選手やプロスポーツ選手を派遣し、トップアスリートの育成に取り組むなど、長期的に変わっていく見通しである。</p>
<p>事務局 (主 査)</p>	<p>議事(2)平成23年度実施事業等の概要について 資料に基づき説明した。 体育施設の整備 (1)北野総合運動場テニスコート等整備事業 2面増設し、3面は現在設置の東西から南北へ向きを変更する。工期は、平成23年10月13日から平成24年3月26日までである。 (2)地区体育館施設整備事業 新所沢地区体育館の屋根の防水補修と外壁の修繕をしている。 (3)パークゴルフ場整備運営事業 パークゴルフ場が10月末に完成し、11月5日に開場式を行い、12月</p>

様式第2号

発言者	審議の内容(審議経過・決定事項等)
<p>委員</p> <p>事務局 (主査)</p> <p>委員</p> <p>事務局 (課長)</p>	<p>13日から一般貸出を開始した。芝の養生のため、3月までは週4日の運営としている。</p> <p>スポーツ事業 (1)ソフトボール大会、(2)ソフトバレーボール大会、(4)歩け歩け大会、(5)グラウンドゴルフ・ペタンク大会については、体力づくり市民会議が主催し、スポーツ推進委員会を中心に進められている。(3)親子ドッジボール大会は、スポーツ推進委員会が主催、夏休みに開催し、親子が楽しんだ。(6)第12回所沢市陸上競技選手権大会、(7)第22回所沢シティマラソン大会を開催、(8)各種体操教室は、教育委員会が主催、(9)スポーツ大賞・体育協会賞表彰式は、体育協会と共催し、3月3日に優秀な成績を修めた方、団体及びスポーツの発展に寄与した方を表彰する予定である。</p> <p>児童生徒の体力の向上 文部科学省の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」に基づく「子ども体力向上支援事業」として、国、埼玉県教育委員会から所沢市が委託を受けて、親子ティーボール教室、陸上教室を行った。また、スポーツ少年団と共催で2月19日に駅伝競走大会が予定されている。 また、所沢市体力向上推進委員会による、水泳教室、親子で逆上がり教室、親子で縄跳び教室も実施した。</p> <p>パークゴルフ場の整備費は、前回の会議で1,800万円ということだったが、埼玉県の補助は、どれくらいか。</p> <p>現在申請中で、ふるさと創造資金とし、290万円の予定である。</p> <p>ランニングコストは。</p> <p>施設の受付が250万円、パークゴルフ場本体9,000㎡を含む河川全体14,000㎡の整備が200万円、その他諸経費を合わせると500万円程度である。</p>

様式第2号

発言者	審議の内容(審議経過・決定事項等)
委員	<p>新所沢地区体育館の整備は、床を修繕するものと思っていた。屋根の防水と外壁ということだが、かなり期間がかかっている。また、パークゴルフ場がオープンしたということだが、いつからどのように使えるか、広報などで大々的にPRし、市民にわかるようにしてほしい。</p>
事務局 (課長)	<p>芝の養生が必要なため、週6日運営したいところを4日にし、様子をみながら開放している。広報は、2月号に掲載する。</p>
会長	<p>靴はどうしたらよいか。</p>
事務局 (課長)	<p>運動靴でよい。</p>
委員	<p>市の行事について、すべての部署でやっていることがわかる資料があるとわかりやすい。</p>
事務局 (次長)	<p>「所沢の教育」に、教育委員会の前年度の事業と現年度の予定を載せている。</p>
会長	<p>児童の生徒の体力向上について、意見を伺いたい。</p>
委員	<p>小学校の授業で、ティーボールを取り入れている。親子ティーボール教室は、西武ライオンズに協力をいただき、3校の会場で行った。 陸上教室は、早稲田大学競走部員の方に学校へ来ていただき、走り方など、教員とともに体験した。</p>
委員	<p>職員は、自主参加か。</p>
委員	<p>勤務であり責任をもってやっている。</p>
委員	<p>中学校の陸上教室は、南陵中学校と美原中学校が対象となり、部活の指導として授業をしている。早稲田大学競走部と日程を調整しながら、種目ごとに来てもらっている。</p>

様式第2号

発言者	審議の内容(審議経過・決定事項等)
事務局 (課長)	<p>この3つの子どもの体力向上支援事業は、スポーツ振興課の事業であり、テニール協会、西武ライオンズ、スポーツ推進委員会、早稲田大学競走部、スポーツ少年団の協力を得、また地域と連携し、文部科学省から80から90万円の補助金を受けて運営している。早稲田大学競走部などには、若干の謝礼を支払っている。駅伝競走大会は、2月19日にスポーツ交流大会と同時に航空記念公園で、2,000人程の選手が出場し、家族など多くの人出が予想される。</p>
事務局 (課長)	<p>所沢市西地区総合型地域スポーツクラブについて、広報2月号に活動状況が掲載される。</p>
事務局 (副主幹)	<p>議事(3)市民プール管理運営事業等について 資料に基づき説明した。</p> <p>市民プールの現状 昭和47年に開設されてから、設備がかなり老朽化し、安全面、衛生面の確保が困難となっている。保健所からろ過機能の不足を指摘されている。運営委託費約2,300万円、光熱水費や消耗品約700万円、保守点検や修繕費約1,000万円、年間合計約4,000万円がかかる。当初、10万人超の来場者があったが、昭和60年代に入ると激減し、ここ数年は3万人前後を推移している。</p> <p>事業廃止に至った経緯 平成22年度の事業仕分けで不要と判断され、教育総務部の2次評価にて協議し、昨年3月の市政策会議の最終方針で市民プールの管理運営事業を不要とし、平成24年度で廃止することとなった。</p> <p>事業廃止を一部見直した事由 平成22年度11月と2月のスポーツ振興審議会での委員の方の意見をふまえ、市のホームページで事業廃止の方針を公表したところ、地元住民や市議会において、継続の意見が多数あり、8月29日の政策会議にかかり、事業の一部見直しとなった。廃止にあたっては、時期や代替案を十分協議すること、当面は一部、設備の改修等を行い継続利用を計ること。改修については、12月議会で、9,800万円の補正予算が承認され、建設部公園課の事業として7月のオープンに向けて行う。</p>
会長	<p>市民プールの事業について、委員の方皆様の意見を伺いたい。</p>

様式第2号

発言者	審議の内容(審議経過・決定事項等)
委員	<p>プールはランニングコストがかかるもの。中学校体育連盟の大会が公共の場で行えると利用頻度が上がるが、所沢市のプールは競技用ではない。継続するなら、競技ができるものをという要望がある。</p>
委員	<p>コストがかかるのに利用者が少ないのは、施設に魅力がない。みんなが使える改修をしてほしい。</p>
委員	<p>小手指地区で利用していた人にとって、施設がなくなることに失望するのはわかる。当初は役割を果たしていたが、時代が変わって、商業施設が出来て、市民プールは夏季だけの期間で膨大な予算を使ってよいものかと思うと、廃止に賛成だった。ただ、健康増進の要素として、年間稼働が出来るもの、焼却場の熱利用など代替案の協議では時代にあったものをお願いしたい。</p> <p>レクリエーション協会は会員が何千人もいるが、補助金は60万円である。それに対し、9,800万円の補正予算には驚いた。</p>
委員	<p>膨大な予算を考えると、廃止は止むを得ないが、継続なら子どものため、高齢者の健康のための施設にする方向がよいと思う。廃止は大変な損失になるということを考慮して、運営してほしい。</p>
委員	<p>子どもの頃から利用していたので、廃止にショックだったが、議論を重ねての廃止だと思っていたことが、署名運動などにより覆るのか。学校はプールの授業が減っているようなので、代替施設が出来るなら意義がある。</p>
委員	<p>PRして、市民に利用してもらうようにしてほしい。</p>
委員	<p>自宅の郵便ポストに入っていた市議会議員のチラシでプールの継続を知った。そうではなく、まず、広報で市民に知らせしてほしい。</p>
委員	<p>改修費9,800万円に驚いた。今と同じではなく、屋根をつけるなどして、発展性のある方向へ持って行ってほしい。</p>

様式第2号

発言者	審議の内容(審議経過・決定事項等)
委員	<p>審議したことが変わる、スポーツが政治的に利用されるのはさびしい。お金をかけずに子どもを指導しようとしているが、スポーツ指導の観点が違うと思う。公平な審議が出来るとよい。</p>
会長	<p>開設当初と比べ、あまりにも老朽化していたので驚いた。9,800 万円でどれくらい改修できるのか、何年か待ってでもよいものを作ったほうがよいのではないか、無駄にならなければよいと思う。</p>
事務局 (部長)	<p>今後の問題として、7 月に行った市民意識調査ではスポーツ施設における市民の要望のトップは、温水プールだった。市民プールの代替案については、10 年前から内部で検討しているがコスト等の問題により結論が出ていない。温水プールを作るなら、利用形態はどうするのかなど全庁的な議論をしていく。また、民間の活力の導入も考えられ、用地の取得からはじめると10年程かかる。スポーツ推進計画にもあるので、議論を止めることなくやっていく。</p>
事務局 (副主幹)	<p>議事(4)その他について 次回会議の議題について、市民体育館の利用方法について、審議をいただく予定である。</p>
事務局 (課長)	<p>次回会議は、3 月を予定。議題は市民体育館の利用方法のほか、体育施設の整備計画、平成 24 年度の事業予定についてである。</p> <p>副会長によるあいさつにより、閉会した。</p>

以上のとおり、会議録を確定しました。

所沢市スポーツ振興審議会委員

会長 新井喜代子